

まほろば



2022.1
第232号

新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。

大雪続きの新年となりました。

さて、今年、当院は新しい一歩を踏み出すこととなります。外観が一新されるとともに、様々な新たな機能が追加されます。

一つは津軽医療圏で初めて指定を受ける地域医療支援病院としての役割で、地域医療機関からの紹介患者に対する高度医療の提供、医療機器や病床の共同利用機会の供与、地域医療従事者に対する研修の実施などが含まれます。一方、

救急医療に関しては、輪番制度の過半数を担うとともに、日常の救急症例の積極的受入が、市、市民、他医療機関から期待されています。

将来を見据えると、20年後には弘前市の人口は13万人に、津軽医療圏の人口は20万人に激減し、高齢化率は45%に達すると想定されています。その頃いくつの総合病院がこの地域で必要となるでしょうか？当院が将来にわたり地域を支える中核病院として存続するためには、複数の役割を的確にこなしていくことが必須であり、その成否は初年度である今年の成果に委ねられていると言っても過言ではありません。

窓外を見ると一面が雪に被われ、37年ぶりの積雪量での越年と報じられています。連日の雪かきに辟易している方も少なくないかも知れません。しかし、こまめに除雪に励めば必ず雪解けの季節が訪れます。それと同様に、開院当初には多くの問題に遭遇することが予想されますが、一つ一つを誠実に対処することで道は自ずと開かれ、住民から信頼される病院として地位が確立されるはずです。大切なこの初年を皆さんと協力して乗り切っていきたいと思います。

第20回 北東北国立病院医療研究会の開催について

北東北（青森県、秋田県、岩手県）の国立病院機構管内の病院では、医療の質の向上と医療連携により政策医療及び地域医療の発展に寄与することを目的に研究発表を行っております。

例年、年2回ペースで行っているものですが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響でイベント開催による感染者発生を回避すべく、試行錯誤した結果、専用サイトに掲載する発表方法で年1回の開催にとどまりました。今年度は通常開催したいと思い、市中感染の状況を注視してきましたが、参加施設との協議の結果、残念ながら昨年度同様の発表方法で年1回開催となりました。

ただし、一方で開催にかかる周知と開催期間はいずれも昨年度より時期的に余裕がありましたので、昨年度を上回る90題以上の演題登録がありました。また、今回は掲載期間を長くし、同時に追加登録も受け付けることでできるだけ関係者が発表と閲覧できる機会を得られる工夫も行いました。

こうして新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組みながら研究発表を行っておりますが、次年度こそは新型コロナウイルス感染症が終息し、日々の日常が戻り、通常開催できることを願いたいと思います。

管理課長：坂本 淳

DMAT養成研修に参加して

12月6日（月）から12月9日（木）までDMAT研修に参加してきました。主にグループディスカッション、実技演習を行いました。医師、看護師、薬剤師、放射線技師など様々な職種が参加しており、様々な病院の方とコミュニケーションを図り楽しく研修を行うことができました。DMATは現場に出向き医療行為を行うことが重要だと思っていました。しかし、研修に参加し最も重要なことは情報収集、連絡体制の確立であり、その上で各隊がどのように動くべきかアセスメントし行動していくことが重要であることを学びました。また、危険と隣り合わせのため様々な場面での判断力も必要であり自分の安全を確保することも重要であると学びました。

今回の学びを今回だけではなく今後の活動に活かせるよう日々学びを深めていきたいと思います。

3階病棟 看護師：波多野 翔太



外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (令和4年1月4日～)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		加藤 武/澁谷修司	加藤 武/山崎 堅	加藤 武/齋藤数正	加藤 武/山崎 堅	横田貴志/齋藤数正 加藤 武/山崎 堅
呼吸器内科		中川 英之	山本 勝丸	中川 英之	山本 勝丸	中川 英之
		山本 勝丸	下山 垂矢子	下山 垂矢子	下山 垂矢子	下山 垂矢子
		下山 垂矢子	田中 佳人	田中 佳人	—	田中 佳人
		—	石岡 佳子	—	—	—
消化器・血液内科		松木 明彦	相原 智之	相原 智之	松木 明彦	相原 智之
		山口 公平	間山 恒	松木 明彦	間山 恒	山口 公平
		澤谷 学	高橋 一徳	澤谷 学	高橋 一徳	松木 明彦
		石黒 陽	石黒 陽	高橋 一徳	石黒 陽	石黒 陽
	午後 血液内科のみ	間山 恒	山口 公平	間山 恒	山口 公平	—
脳神経内科		今 智矢	清野 祐輔	—	清野 祐輔	清野 祐輔
小児科		敦賀 和志	佐藤 工	敦賀 和志	佐藤 工	杉本 和彦
		岡本 剛	千葉 智子	佐藤 啓	岡本 剛	佐藤 啓
		徳竹 晴香	石山 永美	千葉 智子	石山 永美	徳竹 晴香
外科		柴田 滋	赤坂 治枝	柴田 滋	赤坂 治枝	三上 勝也
		—	堤 伸二	堤 伸二	堤 伸二	—
呼吸器外科		對馬敬夫/畑中 亮	對馬敬夫/畑中 亮	—	對馬敬夫/畑中 亮	對馬敬夫/畑中 亮
乳腺外科		小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅
整形外科	午前	陳 俊輔	秋元 博之	秋元 博之	陳 俊輔	秋元 博之
		中村 吉秀	中村 吉秀	岩崎 宏貴	中村 吉秀	岩崎 宏貴
		岩崎 宏貴	陳 俊輔	油川 広太郎	油川 広太郎	油川 広太郎
脳神経外科		大熊 洋揮	—	木村 正英	—	大熊 洋揮
皮膚科	午前	福士 花恋	福士 花恋	福士 花恋	福士 花恋	福士 花恋
		是川 あゆ美	是川 あゆ美	是川 あゆ美	是川 あゆ美	是川 あゆ美
	午後	● 予約	● 手術/検査	● 予約	● 手術/検査	● 予約
泌尿器科	午前	松本 哲平	松本 哲平	松本 哲平	松本 哲平	松本 哲平
	午後	検 査	検 査	手 術	検 査	手 術
産婦人科		横田 恵	當麻 絢子	追切 裕江	● 妊婦健診 (一般外来休診)	横田 恵
		當麻 絢子	丹藤 伴江	丹藤 伴江		追切 裕江
眼科		蒔 苗 順義	蒔 苗 順義	—	蒔 苗 順義	蒔 苗 順義
耳鼻咽喉科		西澤 尚徳	西澤 尚徳	(手術)	西澤 尚徳	西澤 尚徳
		松下 景	松下 景	(手術)	長岐 孝彦	松下 景
放射線科	診断	佐々木幸雄/坂下仁菜	佐々木幸雄/坂下仁菜	佐々木幸雄/坂下仁菜	佐々木幸雄/坂下仁菜	佐々木幸雄/坂下仁菜
		佐々木幸雄/坂下仁菜/藤田 環	佐々木幸雄/坂下仁菜/藤田 環	佐々木幸雄/松山 寛	佐々木幸雄/坂下仁菜/藤田 環	佐々木幸雄/藤田 環
	治療	—	—	川口英夫(午後)	—	川口英夫(午後)
女性専用外来		杉本 菜穂子(※予約制/第1・第3水曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		佐藤 温(※予約制/第2・第4木曜日14時～16時)				

- ※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。
- ※ セカンドオピニオン外来は第2・第4木曜日の14時～16時です。
- ※ 循環器内科、石田医師の診察は13時～16時です。
- ※ 小児科の午前診療受付は10時30分までとなります。
- ※ 大熊医師の診察は14時～16時です。
- ※ 産褥健診は11時30分～12時です。
- ※ 眼科の診察は9時30分からとなります。



患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
TEL 0172-32-4311
FAX 0172-33-8614
URL <http://hirosaki.hosp.go.jp/>

責任者：副院長 小田桐 弘 毅